

# スカパーJSATグループ 2017年度下半期番組審議会

(スカパーJSAT 第29回、スカパー・エンターテイメント第22回)

開催年月日：2018年2月26日(月)

開催場所：スカパーJSAT株式会社 役員会議室

出席者

(審議委員)

委員数：7名

出席委員数：6名

審議委員長：高畑 文雄

委員：藤原 洋

委員：逢坂 剛

委員：崔 洋一

委員：二宮 清純

委員：草野 満代

(スカパーJSATグループ)

高田 真治：(スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員社長)

小牧 次郎：(スカパーJSAT(株) 取締役 執行役員専務 メディア事業部門長 兼 コンテンツ事業本部長)

古屋 金哉：((株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長)

片岡 博：(スカパーJSAT(株) メディア事業部門 コンテンツ事業本部長代行)

齊藤 肇：(スカパーJSAT(株) メディア事業部門 コンテンツ事業本部 チャンネル運営部長)

上田 徹：(スカパーJSAT(株) メディア事業部門 コンテンツ事業本部 編成推進部長)

(報告者)

渡部 康弘：(スカパーJSAT(株) チャンネル運営部長代行 エンターテイメントチーム長)

吉田 都咲：(スカパーJSAT(株) チャンネル運営部 エンターテイメントチーム)

安村 将史：((株)スカパー・ブロードキャスティング 制作部)

御子柴 文武：(スカパーJSAT(株) 編成推進部 チャンネル連携チーム長)

大竹 雄介：(スカパーJSAT(株) 編成推進部 チャンネル連携チーム)

審議番組 (1)「ストリートファイターV ダラケ! ワールドカップ 2017~日韓戦」

報告者：渡部康弘・吉田都咲・安村将史

## ◆放送概要

放送日：2017年7月24日(日) 22:00~23:00 初回放送

放送チャンネル：BSスカパー!

出演者：千原ジュニア(MC)、米田弥央(アシスタント)

ゲスト：佐藤かよ、鈴木奈々

◆放送コンセプトと実施内容

- ・地上波ではできないバラエティをコンセプトに 2014 年 10 月放送開始。共通のキーワードをもとに集められた 3 名のパネラーと MC 千原がクイズ形式で未知なる世界を紹介する番組。
- ・本番組「ワールドカップ 2017」は秋葉原「e-sports SQUARE AKIHABARA」での公開収録。ゲームを知らない人にも楽しめるような「キャスティング」、「対戦中の映像は無編集」にて制作。

<審議委員からのご意見>

- ・個人的にゲームはやらないが、素人でも理解でき、スリリングな展開でテンポが良かった。これは対戦映像を編集せず、ライブ感を生かしたことが功を奏したのではないかと思う。
- ・「佐藤かよさん」の解説がわかりやすく、素人にもその面白さ、プレイの凄さが伝わった。
- ・出演者であるゲーマーの方々のバックグラウンド（私生活など）をもっと深く追って紹介をしていたら、日韓戦というキーワードと相乗効果でもっとドラマチックな番組になったのではないか。
- ・一番見たいシーンがゲーマーのコントローラーさばきなので、操る手元を映して欲しかった。（⇒手元を映すことはテクニック流出になるので難しいと制作担当者が回答）この業界発展のためには暗黙知ではもったいない。形式知にするべきだと思う。どんどん広げていくために惜しまない姿勢が必要。  
実況をつけるという試みも制作サイドでは是非検討して欲しい。実況者を育てる、その人がパイオニアとして盛り上げていくという視野を持って挑戦してほしい。
- ・e スポーツはオリンピックゲームになる可能性もあるため、このジャンルを考える良いきっかけとなった。  
今後企画として広げていけるテーマだと感じた。ネットと SNS とメディアのテクノロジーの進化をこの様な番組路線で深めて広めてほしい。  
⇒いま e スポーツは世界でよりメジャーになってきている感覚がある。スカパー！のチャンネルで e スポーツを取り上げ始めたチャンネルも幾つか始まっているので、知っている少しずつこの媒体で盛り上がろうとしている感じがある。今後もこのジャンルは追っていきたい。

審議番組（2）プロ野球セット presents「プロ野球ワイド」

報告者：御子柴文武・大竹雄介

◆放送概要

放送日：毎月第 2 週または第 3 週日曜 11:00～スカチャン放送

放送チャンネル：BS スカパー！

出演者：中川家礼二（MC）、倉持明日香（アシスタント）

◆放送コンセプトと実施内容

- ・プロ野球セットの加入者は未加入者にも広く支持されるような番組を目指す。プロ野球を年間通して楽しんでいただくためシーズン中は月 2 回、シーズンオフもレギュラー放送を実施。  
（プロ野球セットでは全 12 球団のセパ公式戦を全試合放送）
- ・プロ野球版ワイドショーがコンセプト。「厳選一面ワイド」、「突撃ワイドレポート」、「レッド吉田の名選手の店いただきます」などのコーナーのほか、その日スカパー！で放送する試合・チャンネルを紹介。
- ・より幅広い層の方々に視聴頂くため、再放送を初回放送から 2 週間の間様々な時間帯に編成。

昨年の「プロ野球セット」解約件数は前年より少なく、セット累計契約者数は前年より増加。

#### <審議委員からのご意見>

- ・「一面ワイド」は新聞読みが売りなのでもっとアップを撮る、全国・ローカルのスポーツ紙を扱うなど制作者の側で見せ方、切り口を変えて欲しい。いじってみたり、企てたりといった仕掛けが欲しい。  
「突撃レポート」での裏方さんのサポートぶりや、OB 選手による昔のエピソード話は面白いが、それが試合結果とどうつながっているか、OB と今の現役選手との交流、つながりに着目して番組作りができると広がりが出るのではと感じた。
- ・新聞読みをするプレゼンターは野球好きのタレントを起用しているということだが、もっとプロ野球への想いを前面に出すプレゼンをして欲しい。いかに MC、ゲスト、視聴者を番組に引き込んでいけるかはプレゼンター次第のような気がしたので、期待したい。  
⇒新聞一面を真正面から見るのではなくて少し横から見てもらうコンセプトだったが視聴者にうまく伝わっていないと感じた。今後の演出、手法、舞台セット含めて検討・見直しをしていきたい。

#### <報告事項>

「今後の多チャンネル番組審議対応について」

報告者：（株）スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長 古屋金哉

- ・スカパー・エンターテイメントは、東経 124 度、128 度 CS 放送（プレミアムサービス）登録一般放送事業者であり、ラジオチャンネルを除く全チャンネル（番組供給事業者）の放送事業者である。一方、基幹放送として位置づけられている BS 放送、東経 110 度 CS 放送（スカパー！サービス）の認定基幹放送事業者でもあり、自主チャンネル及び番組供給事業者 2 社のチャンネルが、スカパー・エンターテイメントのチャンネルである。（但し、すべてのチャンネルがプレミアムサービスのチャンネルとのサイマル放送である）
- ・各番組供給事業者で考査・番審等で既にチェックをされているが、スカパー・エンターテイメントは放送事業者として、プレミアムサービス番組供給事業者 158ch 全てを見る立場にあるため、毎月、考査委員会を実施し過去 1 カ月から 2 カ月先までの番組の内容・情報を確認している。また、カスタマーセンターに寄せられるお客様からの番組へのお問い合わせ、ご意見を毎日社員がパソコン上で確認できる環境になっており、月単位で整理しチェックをしている。
- ・何かあれば直ちに番組供給会社と確認するという体制にしているが、現時点では大きな問題は発生していない。  
今後、当番組審議会でも、番組供給事業者の各チャンネルで放送した番組についても審議いただく場合があるとご説明した。